

5. 代謝科診療実績

代謝科 藤川達也・井上謙太郎・吉田泰成・松本さやか・中本健太

2021年（令和3年）度は、前年度と変わらない診療体制で業務（外来・入院）を行いました。

吉田泰成先生が糖尿病研修指導医の資格を取得されました。現在、糖尿病専門医4名（うち指導医2名）、内科医、研修医、CDEJ（日本糖尿病療養指導士）を中心としたコメディカルスタッフで糖尿病診療にあたっております。2021年度は、薬剤師の大嶋 成奈優さんが新たに資格を取得され、当院のCDEJは25名となりました。

（看護師8名、管理栄養士9名、リハビリ4名、臨床検査技師2名、薬剤師2名）

◆糖尿病 教育入院

前年度に引き続き、人数の制限（1回3～4人まで。試食会は中止）を設けさせてもらい行いました。2021年度は52人の方が教育入院（2週間）を受けられました。すべて従来の『2週間パス』での入院で、『1週間パス』を利用はありませんでした。

◆他科からのコンサルテーション

糖尿病患者数の増加に伴い、糖尿病以外で入院となり、血糖管理の必要が生じるケースが増えてきております。令和元3年度の集計では、他科から代謝科へコンサルテーションとなった患者数は合計293人。そのうち約7割が周術期の血糖コントロール依頼です。それ以外にも抗がん剤治療時、周産期（妊娠糖尿病、糖尿病合併妊娠）、ステロイド治療時などでも当科も併診し、院内の血糖管理を行っております。

【令和3年4月1日～令和4年3月31日】

他科コンサルト	計293人	
整形	106人	36.2 %
外科	84人	28.7 %
脳外	42人	14.3 %
皮・眼・耳・形・菌	28人	9.6 %
泌尿器	26人	8.9 %
産婦	7人	2.4 %

◆他院からの患者紹介

令和3年度は、三豊市、観音寺市、四国中央市の診療所・クリニックから33人（平均2.7人/月）をご紹介頂きました。平均A1c：10.3%とコントロール不良の患者が多く、教育入院からインスリン導入となるケースが大半でした。

◆ひうち会（糖尿病 患者会）の活動

コロナの影響で、前年度に引き続き2021年度も年2回の総会、春のバス旅行や、西讃ウォークラリーなどのイベントは中止となりました。「会報ひうち」も年1回のみの発行となりました。コロナの状況を考慮し、少しずつでも再開できればと考えております。

これからも地域の糖尿病診療に貢献して参りたいと思います。

文責 井上謙太郎